

組織目標評価報告書（平成23年度）

部局名： 附属図書館

目 標	目標の達成状況(成果)及び新たに生じた課題への取組 (部局での検証とそれに対する取組)
①教育領域	自己評価
①-1 目標	
①-2 目標とする(重要視する)客観的指標	
②研究領域	自己評価
②-1 目標	
②-2 目標とする(重要視する)客観的指標	
③センター業務領域	自己評価
③-1 目標	<p>1. 利用者からの意見を収集する機会として、学生と館長懇談会を2回、学生と鹿田分館長懇談会を1回実施した。そこで出された意見及び平成22年度に実施した全学アンケート結果に基づき、中央図書館では開館日の10日拡充、閲覧席の個人用への更新等を実施し、鹿田分館では学生への貸出冊数及び貸出延長回数の増加、二人用机に仕切り設置等の自主学習環境整備を実施した。Webポータル機能の充実については、マイライブラリの機能充実等を実施した。又、これらの取組を広報する一環として図書館の公式ツイッターを開始した。</p> <p>2. 電子ジャーナル等選定ワーキングを5回(6, 8, 10, 12, 2月)開催し、平成24年度分の電子ジャーナル等の購読タイトル及び平成23年度買い切り電子リソースのタイトルを決定し、着実に契約を実施した。買い切りタイトルについては資料費全体を勘案した結果、当初予定以上のタイトルが整備できた。また、学内各分野に偏りが生じないように選定方法を変更した。「電子リソースの整備方針」の見直しを実施し、その整備方針に基づき平成25年度以降の電子ジャーナル等の選定に着手し、当ワーキング選定分のタイトルを決定した。</p>
③-2 目標とする(重要視する)客観的指標	
④社会貢献(診療を含む)領域	自己評価
④-1 目標	<p>(1)池田家文庫絵図展(岡山市デジタルミュージアム、入場者2,463人(昨年比約1,000人増加))・記念講演会、公開講座(5回)、岡山後楽園子ども向けワークショップ(2回)を継続して実施した。植物研分館でも貴重資料を紹介した企画展を3回実施した。また、「池田家文庫絵図」DBをリニューアルし、公開高精細画像数を約400点から約600点に増加させた。これに合わせ池田家文庫「諸職交替」「マイクロフィルム目録」DBもリニューアルした。この絵図DBは岡山県立図書館の「岡山デジタル大百科」にも連携させ、利便性の向上と情報発信の強化に努めた。</p> <p>(2)岡山大学の研究成果の社会発信を拡充するため、博士論文と学内主要プロジェクトの成果論文の原則公開義務化を全国の大学に先駆けて決定し、収集できた論文を順次学術成果リポジトリに採録・発信した。</p> <p>(3)岡山大学出版会では着実に刊行と販売を続け、本年度は岡山大学版教科書6冊の新刊と2冊の増刷を行った。</p>
④-2 目標とする(重要視する)客観的指標	
【総括記述欄】	
<p>平成23年度について、中央図書館では貸出冊数、利用者数とも大幅に増加した。学生との懇談会を実施し、直接学生からの声を聞く機会を設けている。まだ様々な要望もであるが、ここ数年の改善については学生も評価してくれている。これに次年度については教員の図書館に対する理解の向上と図書館を使った学習を提案していただくように働きかけていきたい。</p>	